



# 園だより

## 1月(睦月)号

令和8年1月8日  
千代田区立お茶の水幼稚園  
園長 伊藤栄司

<http://www.schoolweb.ne.jp/chiyoda/ochanomizu-k>



### 午年のスタートに、子どもたちとともに

午(うま)年を迎える。新年おめでとうございます。

年頭にあたり、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様にとって、素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

馬なのに牛のような字を書くのが不思議ですね。「午」の字は、午前・午後・正午と時刻に関係する文字として使われることが多く馬とは全く関係がなさそうに思えますが、長い歴史の中で、十二支が時間や方角を表す記号として使われるようになったことに関係があるようです。「午(11~13時)」の時間帯は太陽が頂点にある最もエネルギーに満ちた時刻とされ、俊敏で力強い馬が象徴として最適と考えられ、当て字として使うようになったという説が有力です。

### 大きく成長する1年に

午年は、物事が活発に動き出す年とも言われているので、子どもたちが前向きに伸び伸びと成長してくれる一年になることを願っています。園児たちが元気いっぱいに校庭を駆け回る姿は、まさに午(馬)のように生き生きとしていて、楽しそうに走る姿に日々元気をもらっています。

冬休みを終え、久しぶりに登園してきた子どもたちは、少し背が伸びたり、言葉がしっかりしてきたりと、それぞれに成長の跡が見られます。お正月の楽しい思い出を話してくれる姿も微笑ましく、家庭での温かな時間が子どもたちの心を豊かにしていることを感じます。

### 鏡開き

1月は、心も体も新たにスタートを切る月です。園では、生活リズムを整えながら、寒さに負けず元気に過ごせるよう、体を動かす遊びや季節の行事を取り入れていきます。お正月遊び(かるた、福笑い、羽根つき、たこあげなど)を通して、日本の伝統文化に触れる機会も大切にしています。また、獅子舞や木遣り、新内節の鑑賞など地域の中で大切にされてきた伝統文化にも触れる機会もつくります。

鏡開きでは、ひまわり組さんが今年の抱負(自分の願いや頑張りたいこと)を発表しながら、硬くなった鏡餅を木槌で開きます。ばら組さんとちゅうりっぷ組さんは木槌をもって順番に開きます。お正月なので「切る」や「割る」の言葉は縁起が悪いとされ使いません。酒樽を開くときも同じく鏡開きと言いますが、さらなる発展や祈願成就を目的としている点は同じです。

開いた後のお餅は、お汁粉に入れたり揚げおかきにして食べたりするのが一般的です。園では、おかきを食べますが、実際には新しく購入した切り餅を使います。鏡餅は和菓子屋さんに頼んで作ってもらったおいしいお餅ですが、12月中旬から廊下に飾るため衛生面を心配される方もいらっしゃるので職員でおいしくいただこうと思っています。

失われつつある伝統的な文化に触ることは、子どもたちに豊かな感性を育むだけでなく、礼儀や協調性を学び、友だちとの関わりを深めていくことにもつながります。

### 安心して表現できる環境づくり

園では、今年も子どもたちが安心して自分を表現できる環境づくりを大切にしながら、遊びや活動を通して創造力を育んでいきます。また、友だちとの関わりの中で、思いやりや協力する心を育て、社会性の基礎を築いていくことも大切にしています。

寒さが厳しくなる季節ですので、体調管理には十分ご留意ください。園でも、手洗い・うがいの習慣を大切にしながら、感染症予防に努めてまいります。何か気になることがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。どうぞ本年もよろしくお願いします。